



活力ある秋田 Vol. 71

秋田の持つ無限の可能性

[秋田市観光クチコミ大使]

株式会社日本一東北 代表取締役 佐々木 晃 二 氏

私共の会社は焼き鳥・惣菜を加工販売する小売業です。現在、秋田市土崎に本社を置き、北海道と東北で40店舗を運営しております。秋田県内では秋田トピコ、イオン中央、イオン横手南などにも出店させて頂いております。お蔭様で今年で創業から13年目を迎え、現在、売上高は約21億円、売上高営業利益率は約10%近くを生み出せるようになりました。土崎にこのような会社があることはあまり知られていないと思います。この様に、秋田市に本社を置いてはいるものの、私自身が弊社の持株会社であるホールディングス（グループ企業7社・総売上高260億円）の役員と、そのグループ中核会社の役員も兼ねている関係上、毎週末には秋田に帰り、一週間の大半を東京での仕事で過ごす生活サイクルとなっていることから、外からの視点で故郷秋田を見ることのほうが多くなりました。弊社の収益の原点は、自ら商品を作って販売するという、いわゆる製造小売業としての付加価値の創出にあります。昨年は経済産業省の農商工等連携計画の認定により、農林水産省の6次化支援事業補助対象として国から補助採択を頂き、併せて秋田県と横手市からの強力なご支援の下、横手市にグループ会社の製造工場を立地させて頂くことができました。この工場建設には事業費7億円を投じ、この種の工場としては国内最新鋭の機械設備を備えたもので、現在約80名の社員が秋田の素晴らしい農畜産品を使った商品の製造に従事し、製造された商品は弊社各店舗で販売されております。また、この工場は、日本ハムグループとのコラボにより、ハーブとビタミンEの餌で育てられた



秋田工場内の様子

ヘルシーな鶏、「鳳潤ハーブ鶏」という原料鶏肉を使った商品の製造を手掛けています。特に昨年のク

リスマスに販売した、その商品のひとつである「鳳潤ハーブ鶏・もも焼き」は、クリスマス期間中に10万本を売り上げる爆発的なヒット商品となりました。この鶏肉もまた、秋田県内の養鶏農家の手により生産されたものです。更に、今年はJAあきた北央さんのご協力の下、秋田比内地鶏の直営農場の立ち上げを予定しており、この比内地鶏を使った新たな商品開発を進めることで、秋田県農業のより一層の発展に繋げてゆきたいと考えております。

秋田には素晴らしい食材が沢山ありますが、加工という面では出遅れ感は否めません。付加価値を高めるためには単に原材料の販売だけではなく、加工を加える必要があります。秋田が生み出す安全で美味しい食材は、秋田が誇る大切な資源であると同時に大きな財産です。今後もこうした秋田が誇る資源に、更に付加価値を付けるための商品開発を行い広く加工販売することで、秋田の持つ無限の可能性を外からの視点で引き出し、愛する秋田を盛り上げていきたいと考えております。



秋田工場

■略歴

昭和27年 秋田市土崎生まれ
 秋田市立高等学校（現秋田中央高等学校）卒業
 東北学院大学卒業
 秋田市議会議員・秋田市議会議長を歴任
 現在：(株)日本一東北 代表取締役
 (株)日本一 常務取締役
 日本一ホールディングス(株) 取締役事務局長